

福祉だより

上豊富地区
福祉推進協議会
H29.7月発行

つぎへ

上豊富福祉推進協議会会長

足立

地域の皆様には日頃より、上豊富福祉推進協議会活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私この度、上豊富自治会長運営協議会会長という大役を仰せつかることとなりました。さらに福祉推進協議会の会長という大役も仰せつかり、責任の重大さを痛感致しております。

「少子高齢化」とは言い古された言葉との感もありますが、正に、上豊富地区では現実の課題となっております。小学生のいない自治会も増え、高齢化率（六十五歳以上）は、41.47%（茅ノ台を除く）となっております。家庭内介護を含め、要介護者は年々増加の傾向と聞きます。

この様な中、高齢者については、かつて行政がセーフティネットとして用意していた措置制度も疲弊し、現在の介護制度に移行しました。この制度では、在宅で要介護者のケア

が求められておりますが、個別の事例として見れば家庭内での負担が大きいものとなっております。平成二十九年度からは軽度の要支援者を対象に制度の変更がされました。この様な時代こそ、「近所の「繋がり」を通じて「自助」を支える習慣が大事だと思えます。

例年、本協議会活動でも「ふれあい行事」を通して多くの方々にご参加頂いておりますが、今後とも、「繋がり」を通じた地域作りに向け努力してまいりますのでご協力をお願いいたします。

最後に、日頃から、児童福祉、高齢者福祉等、地域での福祉活動の中心となって活動をしていただいております各民生児童委員様のご労苦に感謝申し上げますと共に、本会の活動に住民の方々のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

「こどもたちは赤ちゃん事業」について

主任児童委員 吉田

主任児童委員の仕事の一つに「こどもたちは赤ちゃん事業」というのがあります。

生後三か月の頃の赤ちゃんのいるご家庭を子育て支援に関わる市職員と地域の民生児童

委員・主任児童委員と一緒に訪問し、お祝い品の品と地域の身近な子育てのガイドをお届けします。そして、赤ちゃんに会わせてもらい、お母さんに赤ちゃんの様子や子育て中の心配ごとや悩みごと、または楽しさなどのお話を聴かせてもらっています。

この事業は、乳児のいるご家庭を訪問し、地域の子育て支援の情報をお届けして、子育て中の不安や悩みを聴くとともに、必要に応じて子育てや子育て支援の相談を受け、地域の中で子どもを健やかに育てることのできる環境整備を図ることを目的としています。

お宅を訪問したときに、丸々とした元気な赤ちゃんに会うと、おっぱいをしっかりと飲み、家族のみんなからいっぱい愛情を受け、伸び伸びと健やかに育っている様子を窺うことができて、心が温かい気持ちでいっぱいになります。

上豊富地区も最近では少子化となり、訪問件数が少なくなると淋しい気もしますが、市役所の子育て支援課から訪問するご家庭の連絡が届くのをとても楽しみにしています。そして、地域の中に、元気な子ども達の声がたくさん聞こえるようになってほしいと思います。



「つながり」

民生児童委員 足立

今年は早くから暑い厳しい日が続き、健康管理も大変でした。

七月に入りますと、私は永く京都の山鉾の町内に勤務してかかわった祇園祭のことを思い出します。山鉾巡行は動く美術館とも云われ、美と芸術の迫力は感動そのものです。住民の出入りの激しい中、町内の保存会の皆さんが尽力され、文化を保持継続していくための心意気は感心の一言です。お囃子はもちろんのこと、ちまきの販売も「厄除け安産のお守りは・・・」とうたいながら町内の子も達が受け持ちます。大人になれば山鉾の組立て・巡行へと、そうして将来へ受け継がれていきます。

帰郷して数年経ちました。福知山には大切に継承されている福知山音頭があります。自治会のふれあいの場として、毎年八月十四日に開催される盆踊り大会には、時を忘れドッコイセイ・ドッコイセイと踊って楽しませてもらっています。気がかかることがあります。それは大人の参加もですが子ども達の参加が少ないことです。地元で習う機会が少ないのでしょうか。この伝統文化の未来のない手である子ども達には是非しっかり覚えて先頭に立って楽しんで踊ってもらい、継承し

てほしいと願っています。

上豊富ではたくさんの方が地域の皆さんの協力により開催されています。多数の方の参加により活性され、ますます住みよい元気な地域になるのではないのでしょうか。

自治会では十一月はグラウンドゴルフ・ビンゴゲーム大会などあり、近隣のつながりが希薄になっている中、交流を深めそれぞれが互いの健康維持・防災等、助け合いに生かされていくのではないかと考えます。

「上豊富地区福祉推進協議会」

第二十六回総会「報告」



事務局長 民生児童委員 足立

去る五月二十四日、足立 会長以下、新本部役員、新委員の方々の出席のもと、平成二十九年度第二十六回総会を開催致しました。二十八年度の事業報告・決算報告、二十九年度の事業計画・予算等の審議に続いて、時局の講座を開催致しました。今年、

①福知山市社会福祉協議会 松田会長

「安心生活見守りキーホルダー事業」
「フードバンク活動」について

②福知山市高齢者福祉課 谷口課長 林主査

「介護予防日常生活支援総合事業」について
③成和地域包括支援センター古田センター長
「包括支援センターの事業活動報告等」について

以上三項目について、福祉事業の説明を聞きました。

今日、上豊富地区においても急激に高齢化が進み、十四歳以下の人数は前年度に比べ十九名の減少。また、上豊富小学校の全校児童数は百名となりました。逆に、高齢化の比率は茅ノ台を除く十二地区で41.47%となり、昨年と比較すると1.53ポイントの増となっております。

こうした社会現象のなかにあつて、私達委員は、地域の皆さんとの交流や絆を深め、お互いが安心して生活できる地域づくりを進めることがより大切な役割であると痛感しております。

今後、一つ一つの行事を通して人々の絆、ふれあい、たすけあいの上に取り組んでいきたいと思っています。しかしながら、何分にも新米の事務局長です。行き届かない所が多々あると思います。今後とも地域の皆様方のご協力、ご支援をお願い致します。

